

専門工事企業の施工能力等の見える化制度について

■ 専門工事企業の施工能力等の見える化制度の目的

建設業は、近い将来、高齢者の大量離職が見込まれることから、中長期的な観点からの担い手の確保・育成が課題となっています。

専門工事企業の施工能力の見える化制度は、建設キャリアアップシステムに登録・蓄積される情報を活用した建設技能者の能力評価制度と連動し、個々の企業が、どのレベルの職人を何人雇用しているのかの企業の施工能力に関する情報等を「見える化」することで、優秀な建設技能者を抱え、育てる企業が選ばれ、それによって、所属する建設技能者の処遇改善や人材投資に繋がるといった建設業界における処遇改善や人材投資の好循環を生み出すことを期待するものです。

人を大切にし、施工能力等の高い専門工事企業が適正に評価され、選ばれる環境が整備されることにより、建設技能者の処遇改善や人材への投資が促進され、業界に対する安心感（不良不適格業者の排除）が熟成されるための仕組みを構築することが、見える化制度の目指すものとなっています。

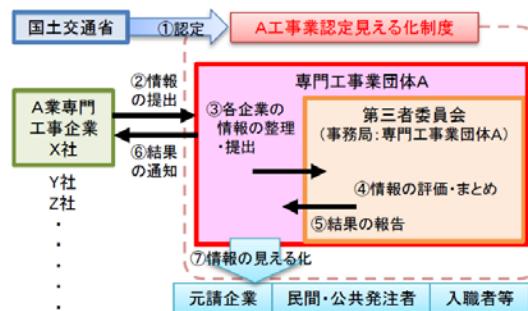
なお、9月20日に、「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」の中間とりまとめを行っておりますので、詳細につきましては以下 URL をご参照頂ければと存じます。（中間とりまとめの概要については別紙を参照願います。）

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000797.html

■ 専門工事企業の施工能力等の見える化制度に係るアンケート調査

国土交通省は、平成30年4月末に「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」を設置し、見える化制度の構築にあたり、発注者、元請企業、専門工事企業それぞれの立場を考慮しながら、どのような項目・内容を「見える化」するか、また、見える化した情報の活用方法等について、検討を進めています。

今後、見える化制度の構築を行うとともに、見える化制度の活用を促進していく観点から、発注者や元請企業にアンケート調査を行うものとなっておりますので、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。



見える化制度のスキーム図(案)

専門工事企業に関する評価制度の構築に向けた アンケート調査

<②発注者（民間企業等）用>

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課

目的

このアンケート調査は、今後、見える化制度の構築を行うとともに、見える化制度の活用を促進していく観点から、発注者や元請企業にアンケート調査を行うものとなっておりますので、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

留意事項

- このアンケート調査は、発注者(民間企業等)にご協力いただき、WEBでご回答いただく仕組みとなっております。
- アンケート調査の回答は統計的に処理し、調査結果は目的以外に使用することはありません。
- アンケート調査結果は、集計データを公表させていただくことがありますが、個別名称等を公表することはありません。
- 趣旨をご理解いただき、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。
- アンケート調査については、国土交通省より、(一財)建設産業経理研究機構に委託をしています。問い合わせがございましたら、以下の担当あてに連絡頂きますようよろしくお願いいたします。

回答方法

- (1)「<http://www.ari.co.jp/farci/company/>」ページにアクセスし、WEB アンケート画面を開いて下さい。
- (2) 選択肢のある設問には、該当する選択肢番号を選択して下さい。記入欄がある設問には、具体的な数値や記述をご記入下さい。なお「*」がついているのは、「必須」設問です。WEB が利用できない場合は、FAX の回答も可能です。
- (3) 各設問は、原則として平成 30 年 11 月 1 日現在の状態を記入して下さい。

回答期限 平成 30 年 12 月 28 日(金)

お問い合わせ

設問・内容に関するお問合せ先
一般財団法人建設産業経理研究機構
担当 荒井、伊藤
TEL 03-5425-1261 (平日 10:00-17:00)

回答方法に関するお問合せ先
株式会社日本アプライドリサーチ研究所
担当 専門工事業の”見える化”調査係
TEL 03-3868-3639(平日 10:00-17:00)
※12月28日(金)は(一財)建設産業経理研究機構
にお問い合わせください

●最初に基礎情報についておこたえ下さい

F1.業種 (回答はいくつでも)	1. 不動産業、住宅メーカー 3. 製造業 5. 電気・ガス・熱供給・水道業	2. サービス業(卸売・小売・飲食、金融・保険等) 4. 運輸・交通・情報通信業 6. その他()	
F2.従業者数 (回答は一つ) <small>※期間の定めのある従業員、及び直接的な雇用関係がない従業員を除く全従業者の数</small>	1. 1人 4. 10~29人 7. 300~499人	2. 2~4人 5. 30~99人 8. 500~999人	3. 5~9人 6. 100~299人 9. 1,000人以上
F3.資本金額 (回答は一つ)	1. 1,000万円未満 4. 1億円以上5億円未満 7. 50億円以上100億円未満	2. 1,000万円以上3,000万円未満 5. 5億円以上10億円未満 8. 100億円以上	3. 3,000万円以上1億円未満 6. 10億円以上50億円未満
F4.完工高 (回答は一つ) <small>※直近の年間完成工事高</small>	1. 5000万円未満 4. 3億円以上5億円未満 7. 30億円以上50億円未満	2. 5000万円以上1億円未満 5. 5億円以上10億円未満 8. 50億円以上	3. 1億円以上3億円未満 6. 10億円以上30億円未満

下請企業(専門工事企業)の評価の現状について

《すべての方にお尋ねします》

***問1 貴団体・貴社では、発注する工事を請負う建設企業を選定するにあたり、元請企業や直接施工を担う下請企業(専門工事企業)に関する情報を把握し、評価していますか。(回答は一つ)**

1. 元請企業と下請企業すべてに関する情報を把握し評価している→ 問1-1へ
2. 元請企業と一部の下請企業に関する情報を把握し評価している→ 問1-1へ
3. 元請企業に関する情報だけを把握し評価している→ 問1-5へ

《問1で、「1」「2」と回答した方にお尋ねします》

***問1-1 下請企業(専門工事企業)について、現状、どのような情報を把握していますか。(回答はいくつでも)**

1. 同種・類似工事の施工実績
2. 工事成績
3. 財務状況等
4. 技能者数
5. 優良工事表彰などの受賞歴
6. 関連分野での技術開発の実績
7. 手持ち工事量
8. 登録基幹技能者、建設マスターの配置
9. その他()

《問1で、「1」「2」と回答した方にお尋ねします》

***問1-2 下請企業(専門工事企業)に関する情報は、どのように入手していますか。(回答はいくつでも)**

1. 発注の条件として、元請企業から下請企業の情報を提出させている
2. 選定の審査段階で、元請企業から下請企業の情報を提出させている
3. 選定の審査段階で、元請・下請企業に対しヒアリングを行い入手している
4. 独自の方法で自主的に入手している(具体的に)
5. その他()

《問1で、「2」と回答した方にお尋ねします》

***問1-3 下請企業(専門工事企業)について、どの階層まで把握していますか。(回答は一つ)**

1. 一次下請企業は把握している
2. 二次下請企業まで把握している
3. 三次下請企業まで把握している
4. わからない
5. その他()

《問1で、「1」「2」と回答した方にお尋ねします》

***問1-4 下請企業(専門工事企業)に関する情報を把握している理由は何ですか。(回答はいくつでも)**

1. 発注者の責任として、下請企業(専門工事企業)の施工能力等を確認する必要があるため
2. 分離発注方式を導入し、専門工事業者に直接発注しているため
3. 下請企業(専門工事企業)の社会保険加入状況等を確認するため
4. 反社会的勢力を排除する必要があるため
5. 地元の企業や資材の活用を促進するため
6. その他()

《問1で、「3」と回答した方にお尋ねします》

***問1-5 元請企業に関する情報だけを把握している理由は何ですか。(回答はいくつでも)**

1. 元請企業を評価することで施工能力が担保されると考えているため
2. 下請企業を評価する制度が未整備であるため
3. 下請企業に関する情報を把握する手段が少ないため
4. 下請企業は対象が多く、評価するのが容易でないため
5. 下請企業に関する情報が不足しているため
6. 下請企業について、何を把握すれば良いか分からないため
7. その他()

専門工事企業の施工能力等の見える化制度について

《すべての方にお尋ねします》

***問 2** 専門工事企業の施工能力等の見える化制度においては、下記の項目を「共通項目」（建設業界共通の必須情報）として検討しています。発注者として貴団体・貴社が下請企業（専門工事企業）を評価する場合（または、評価すると仮定した場合）、どの項目を重視しますか。それぞれの項目ごとに、いずれかを選択（✓）してください。またその理由をお書き下さい。

共通項目(業界共通の必須情報)	重視する	重視しない
1. 建設業許可の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 建設業の営業年数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 財務状況等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 取引先	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 社員数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 団体加入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 建設技能者の人数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 施工実績	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 法令遵守	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 社会保険加入状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



このように「重視する」・「重視しない」を振り分けた理由は何ですか。基本的な考え方や評価の基準などについてお書き下さい。

《問2で、「重視する」項目を複数個選択した方にお尋ねします》

***問 2-1** 重視すると選択した項目のうち、優先順位の高い項目について問2の項目番号（1～10）よりお書き下さい（上位3つまで）。

第1位 ()
第2位 ()
第3位 ()

《すべての方にお尋ねします》

***問 2-2** 下請企業（専門工事企業）の財務状況のなかで、特に重視している項目をすべて選択してください。問2で「3.財務状況等」を「重視しない」と選択した方は、「重視する」ことを仮定した場合に、考えられる項目を回答して下さい。（回答はいくつでも）

- | | | |
|---------------|-------------|---------|
| 1. 自己資本比率 | 2. 総資本経常利益率 | 3. 流動比率 |
| 4. 固定長期適合比率 | 5. 純支払利息比率 | 6. 資本金 |
| 7. 売上高（完成工事高） | 8. その他 () | |

《すべての方にお尋ねします》

***問3** 見える化制度においては下記の項目を「選択項目」(各業種ごとの情報)として検討しています。発注者として貴団体・貴社が下請企業(専門工事企業)を把握・評価する場合(または、評価すると仮定した場合)、どの項目を重視しますか。それぞれの項目ごとに、いずれかを選択(✓)してください。またその理由をお書き下さい。

選択項目(業種ごとの情報)	重視する	重視しない
1. 建機の保有状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 表彰	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 最大請負金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 協力会社	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 労働時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 安全関係団体加入状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 給与制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 休暇制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 労務管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 若年者の確保育成状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 女性の確保育成状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 研修・訓練の実施状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 建設技能者の定着率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 防災活動への貢献状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 国際標準化機構が定めた規格による登録状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 生産性向上・技術開発	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 民事再生法等の適用の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 災害時対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 経営力(経営強化法に基づく経営力向上計画の認定の有無)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



このように「重視する」・「重視しない」を振り分けた理由は何ですか。基本的な考え方や評価の基準などについてお書き下さい。

《問3で、「重視する」項目を複数個選択した方にお尋ねします》

***問3-1** 重視すると選択した項目のうち、優先順位の高い項目について問3の項目番号(1~19)よりお書き下さい(上位3つまで)。

- 第1位 ()
第2位 ()
第3位 ()

《すべての方にお尋ねします》

***問4** 下請企業(専門工事企業)について把握したいが、現状において把握できていない情報はありますか。(回答は一つ)

1. ある
▶ ※「ある」と回答した方にお尋ねします。その情報は何か、理由も合わせてお書き下さい。
()
2. 把握したいと思わない

《すべての方にお尋ねします》

***問5 下請企業（専門工事企業）の評価制度の構築にあたり、重要と考えるものはなんですか。（回答はいくつでも）**

1. 制度に対する国の関与
2. 評価の公平性、客観性
3. 情報管理をしっかり行える運営主体
4. 評価付けや評価の「見える化」のあり方
5. その他（ ）

《問5で、「3」と回答した方にお尋ねします》

***問5-1 下請企業（専門工事企業）を評価し、情報を発信する場合、どのような機関で行うのが最適と考えますか。（回答は一つ）**

1. 所属する専門工事業団体
2. 第三者機関
3. その他（ ）

《すべての方にお尋ねします》

***問6 専門工事企業の施工能力等の見える化制度について、制度が構築された場合、その情報を活用したいですか。（回答は一つ）**

1. 是非とも活用したい
2. 内容によっては活用したい
3. 興味はあるが、活用するかどうかわからない
4. 活用したいとは思わない
5. その他（ ）

《問6で、「1」、「2」、「3」、「5」と回答した方にお尋ねします》

***問7 下請企業（専門工事企業）に関する情報を蓄積・閲覧できるデータベースをつくるとしたら、どのような点を重視してほしいですか。（回答はいくつでも）**

1. 掲載情報が正確であること
2. 掲載情報の更新頻度が高いこと
3. 掲載情報が豊富であること
4. 閲覧等の操作が容易であること
5. 情報の登録申請が容易であること
6. 利用は無料、または安価であること
7. その他（ ）

《問6で、「1」、「2」、「3」、「5」と回答した方にお尋ねします》

問8 専門工事企業の施工能力等の見える化制度について、ご意見やご要望がありましたらご記入願います。

《問6で、「4」と回答した方にお尋ねします》

問9 どのような情報があれば活用したいと思えますか。ご意見やご要望がありましたらご記入願います。

設問は以上です。ご回答ありがとうございました。
下記宛てに FAX を送信してください。
FAX: 03-5425-1262